

## とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

園名 江の島保育園  
活動日 2025年9月10.12.17.18.22.24日  
クラス名(年齢) すもも組(2歳児)  
年間テーマ 感覚

### 活動のテーマ「自分のからだを知る」

#### 〈テーマの設定理由〉

保育室に用意してある押し箱に入って自分のからだの大きさを感じたり、遊具のスナップ棒を腕に何個もつけて手の長さを調べたりする姿が見られる。自分のからだを使って、大きさや高さ、長さを知る為のあそびが多く見られるため、テーマを「自分のからだを知る」とした。

#### 1. 活動スケジュール

9/10 9/12 9/17 9/18 9/22 9/24

- 子どもが自ら手に取れる場所に遊具を設定する。
- 子どもがどのように、遊具や体を扱うかを見守る。
- 「高く積めるかな」「なんの形に見える？」等の声掛けをしながら、子どもの反応やあそびをよく観察する。
- 子どもが遊具を使い遊んでいる様子を写真におさめる。
- 月に2回クラス会議を行い子どもの遊びの様子や反応、気づきを共有する。
- 活動内容の成果と評価を写真と共に記録に残す。

#### 2. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

##### 〈道具〉

- 形や大きさの異なる積み木：リグノ・トーテム

##### 〈環境〉

- 子どもの目線等、自由に手に取ることができるように用意した。
- 自由に構造できるよう空間を保障した。

### 3. 探求活動の実践

#### <活動の内容>

- 子どもが自由に道具を手に取り、積み上げる、色ごとに分類する、並べる。
- 高く積み上げることを繰り返す。
- 積んだものを倒すことを繰り返す。
- 横向きに長くつなげる。
- 完成したものを大人に知らせる。

#### <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- 形を合わせながら高く積み上げ、「見て、高くなったよ」と保育士に伝える。
- 色ごとに分類しながら積み上げ、保育士に視線を送り、共感を求める。
- 積み木の形を見て「反対向きだとくつつくよ」など、形に気づき積み方を工夫する
- 積み上げたものを保育士から「どんな形に見える？」と聞かれ「船みたい」「階段になってるよ」等、形からイメージしたことを伝える。
- 高く積み上げる際、足が当たってしまい倒れてしまう。悔しい気持ちや上手くいかなかったことから、泣きながら保育士に「できない」と助けを求める
- 「足が当たらないようにするにはどうしたらいいかな」等の問いに対し考え、姿勢を変える、ぶつからないように体の使い方等を意識するなどの姿が見られた。
- 指先でつまみ、そっと離すなど微細な動きを意識して道具を扱う姿があった。

#### ※写真



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た気づき>

- 色に注目し、分類したり、色の名称を言葉にしたりしながら遊んでいた。
- 積み上げ方や組み合わせ方を工夫し、倒れないように積むにはどうしたらいいか思考する。
- 形を作ってから、イメージをする子どもや、イメージしたものを作る子どもがいた。
- 積み上げたり並べたりするときに、自分の足や体が道具にぶつからないように動かすことを意識していた。
- 子どもは視線を送ったり、言葉で大人に共感を求めたりする姿があった。子どもの発信を受け止めながら具体的に言葉にして伝えていくことの大切さを感じた。